

米子市橋りょう長寿命化修繕計画 (第Ⅱ期)



米子市役所 都市整備部 道路整備課
令和5年3月 改定
(令和5年12月追記)

1 米子市内の橋りょうについて

米子市では、市道に架かる橋りょう（橋長2m以上）を649橋管理しています。（令和4年3月31日時点）

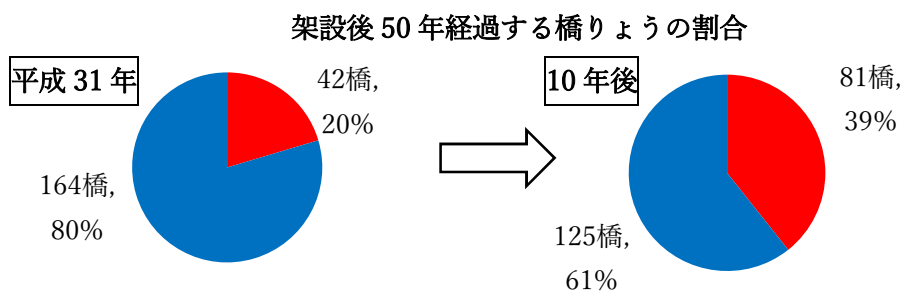
橋長別内訳

橋長（m）	橋数（橋）
2m以上10m未満	517
10m以上15m未満	26
15m以上	106



橋長約10m

架設後50年を経過する橋りょうの割合（架設年次判明分206橋で算出）は、平成31年度時点では約20%ですが、10年後には約39%に増加し、多くの橋りょうが急速に高齢化を迎えることから、維持管理費が増大していくことが予想され、計画的な維持管理を行わなければ、修繕や架替えが一時期に集中し、莫大な費用が必要となることが懸念されます。



2 計画策定の目的

本計画は、今後予想される橋りょうの維持管理費用の増大に対応するため、事後保全対応（損傷が大きくなってから修繕する）ではなく、予防保全対応（損傷が小さいうちに修繕する）を積極的かつ計画的に行うことによって橋りょうの長寿命化及びライフサイクルコストの節減・平準化を図ることを目的としています。

〈これまでの経緯〉

米子市では、平成24年度に橋長10m以上の橋りょうを対象に第I期橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画的な維持管理を開始しました。

【第I期 米子市橋梁長寿命化修繕計画の概要】

- ・対象期間：H25年度～H34年度（10ヵ年）
- ・計画内容：計画対象124橋のうち、要修繕橋りょうは53橋。

3 米子市橋りょう長寿命化修繕計画（第Ⅱ期）改定版について

平成 26 年の道路法改正に伴い、近接目視による 5 年に 1 回の定期点検及び診断が法定義務化されました。米子市においても、これに準じた定期点検及び診断を行い、平成 28 年度に 1 巡目の定期点検が完了しました。

第Ⅰ期米子市橋梁長寿命化修繕計画の進捗状況と 1 巡目の定期点検結果等を踏まえ、第Ⅱ期米子市橋りょう長寿命化修繕計画を平成 30 年度に策定しました。本改定版は最新の定期点検結果を基に、第Ⅱ期米子市橋りょう長寿命化修繕計画を更新したものです。

1) 対象施設

米子市が管理する橋長 2m 以上の道路橋、649 橋を対象とします。(対象橋りょう一覧表参照)

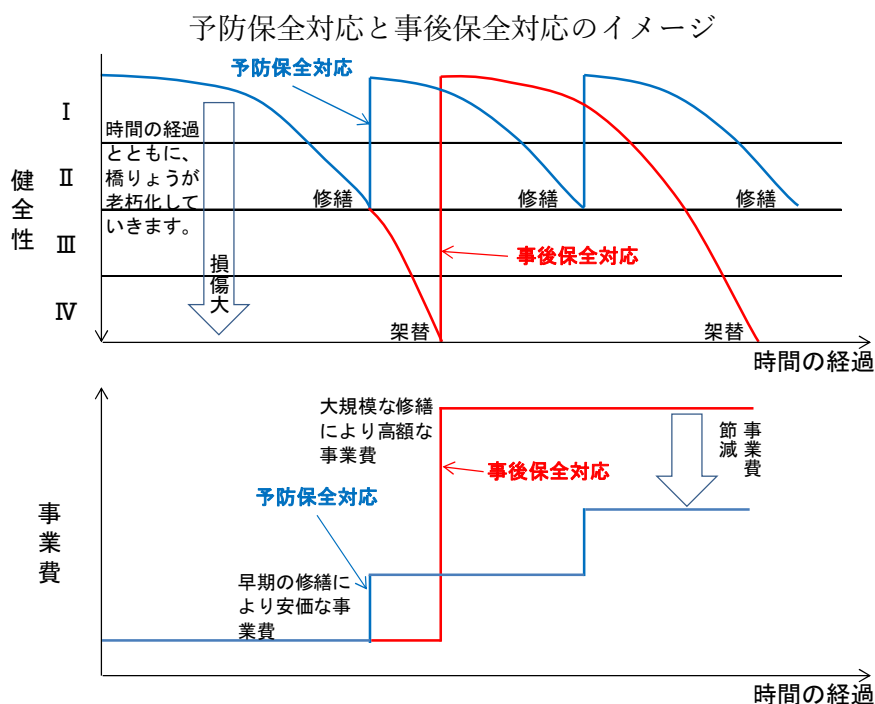
2) 計画期間

第Ⅱ期米子市橋りょう長寿命化修繕計画の計画期間である令和元年度からの 10 年間のうち、本改定版では令和 5 年度から令和 10 年度までを対象とします。

3) 対策の基本方針

(1) 修繕について

将来の必要費用の推計を行うため、過去の点検結果から全橋りょうを分析することにより、劣化曲線を設定します。これにより劣化予測を行い予防的な修繕とすることで、修繕に係る事業費の大規模化を回避します。当面は健全性Ⅲの橋りょうを修繕することが多くなりますが、将来的には健全性Ⅱの段階で積極的に修繕することによって、さらなる橋りょうの長寿命化、事業費の節減をめざします。



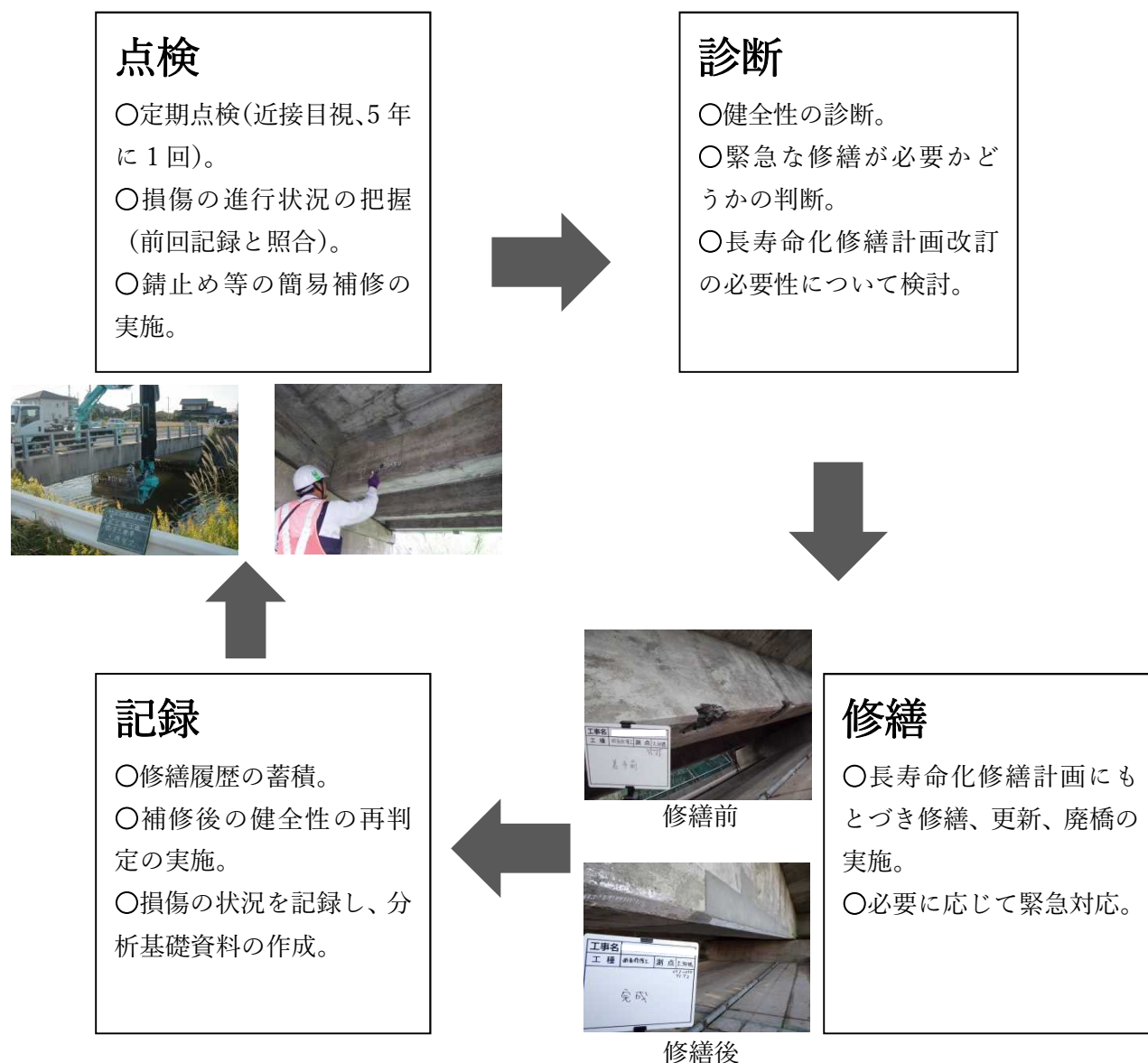
(2) 更新、集約化・撤去について

橋りょう架設後相当年数経過するなどし、損傷が激しく修繕費用が多額となるもの、又は修繕が困難なもの等については架替の必要性も検討します。

集約化・撤去については、迂回路の有無、交通量、隣接橋（代替となる橋りょう）までの距離、及び今後の維持管理費等を総合的に判断し、決定します。具体的には、令和10年度までに2橋程度の集約化・撤去を検討し、今後必要となる維持管理費用を約5割程度縮減することを目標とします。

(3) 対策サイクル

予防保全対応を確実に実施するため、以下のようなサイクルで橋りょうの点検修繕を行います。定期点検に関しては、すべて民間業者に委託していましたが、小規模な橋りょうで健全性の高い（状態の良い）橋りょうについては本市職員による点検も行い経費節減を図ります。



(4) 新技術の活用


橋梁の点検・診断や長寿命化修繕工事の実施にあたっては、国土交通省が提供している「点検試験技術 性能カタログ」等に記載のある点検に係る新技術やNETIS等に登録されている新工法を積極的に採用し、点検作業の効率化や補修コストの縮減に努め、令和10年度までに管理する橋梁のうち30橋で新技術を活用し、従来技術・工法を活用した場合と比較して約200万円のコスト縮減を目指します。

4) 対策の優先順位の考え方

(1) 健全性診断による区分

各橋りょうの診断により得られた健全性の区分に基づき、原則、下表のとおり健全性の低い(状態の悪い)橋りょうから修繕等の対策を実施します。

表－判定区分及び対応方針

健全性	区分		状態	基本的な対応方針
低い  高い	IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が高く、緊急に措置を講ずべき状態。	通行止めなどの応急措置を含め、緊急対応を行う。
	III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	概ね5年以内を目標に、補修等の措置を実施する。
	II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	早期措置段階(III)への対応状況も考慮した上で、必要に応じて措置を実施する。
	I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。	経過観察とする。

※判定区分は道路橋定期点検要領(H31.2月国土交通省)による。

(2) 重要度による区分

(1)のとおり、健全性の低い橋りょうの修繕等を優先することを基本としますが、その他、個別の橋りょうの持つ交差状況・橋りょう種別・路線種別等の特性(下表参照)を勘案した重要度により、対策の優先順位を決定します。

【重要度区分の一例】

- ・桁下が道路等で第三者被害が発生する恐れのある橋りょう
- ・橋長が長い等規模の大きい橋りょう
- ・架橋されている路線の重要度が高い橋りょう 等

表－橋りょう重要度区分

諸元項目	重要度 高 ←————→ 低		
交差状況	桁下が道路等		それ以外
橋りょう種別	橋長 15m以上	橋長 5m以上 15m未満	橋長 5m未満
路線種別	1級市道	2級市道	その他の市道

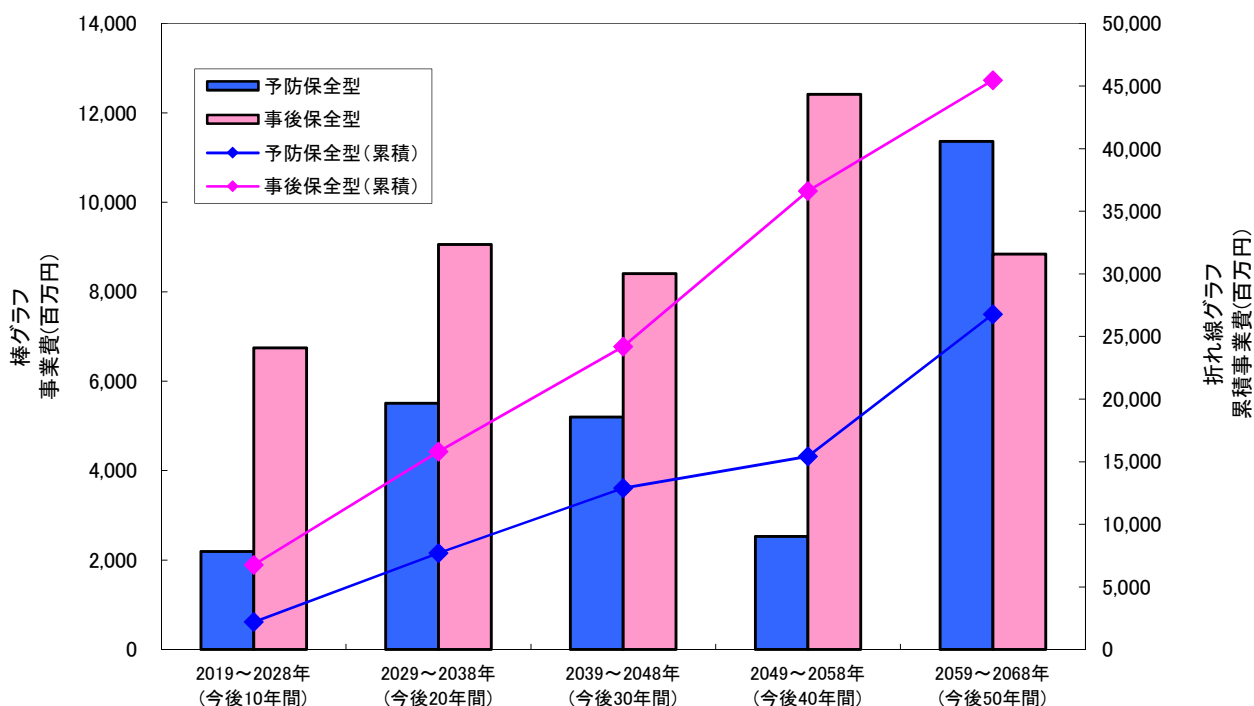
上記以外にも、公共施設の有無等、地域性を考慮して判断する場合があります。

5) 計画策定の効果

(1) 事業費の節減

長寿命化修繕計画を策定する 649 橋について、今後 50 年間の事業費を試算すると、従来の事後保全型が 455 億円となるのに対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が 268 億円となり、コスト縮減効果は 50 年間で 187 億円となる見込みです。

今後 50 年間の累計橋りょう事業費の見込み額



(2) 安全性の向上

定期的に点検を行い、橋りょうの状況を的確に把握したうえで、計画的な補修等の対策を実施し、橋りょうの長寿命化を図ることにより道路網の安全性と信頼性を確保することができます。

また、現在の橋りょうの状況を把握することにより、損傷に起因する通行制限等が減少するほか、コンクリート片の落下等による突然の事故の未然防止と、その対策を講じることが可能となります。

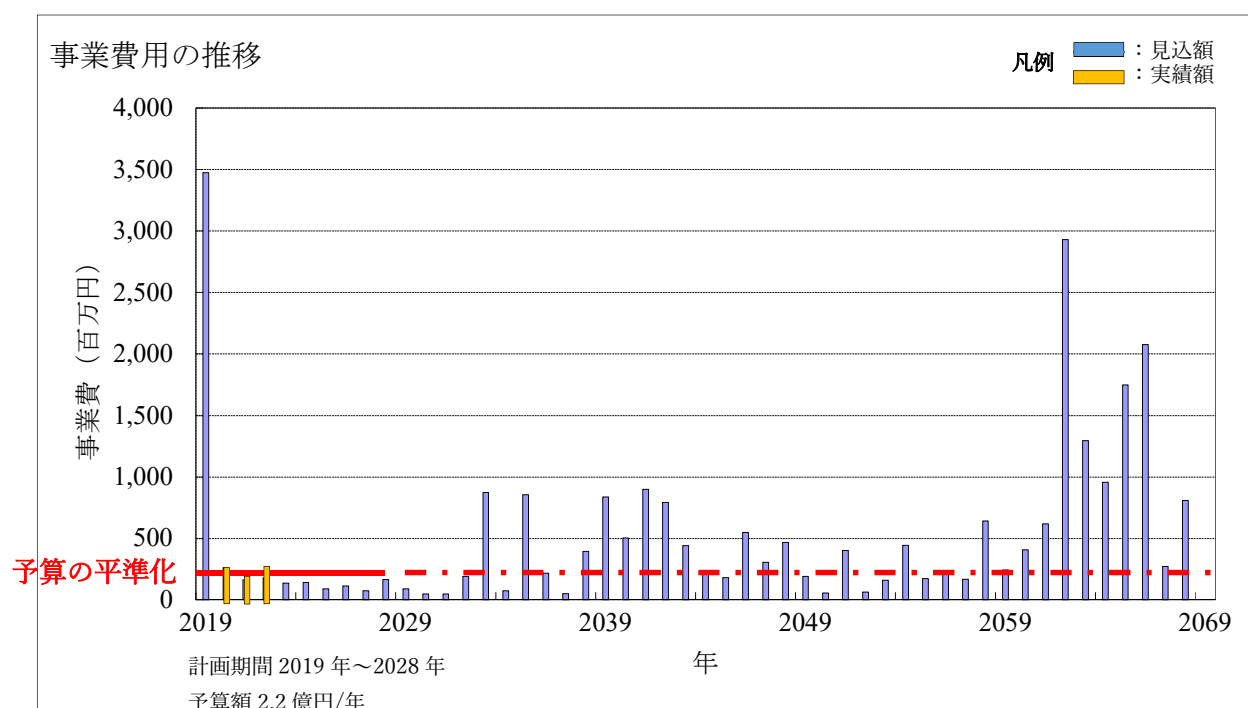
(3) 対策費用及び予算の平準化

予防保全対応による修繕を行った場合においても、下表のとおり、大規模な修繕及び更新が一時期に集中し、当該時期に多額の財源確保が必要となります。

対策費用が一時期に集中化することを避けるため、修繕時期の前倒しや先送り等の調整を図り、計画的な修繕を実施することにより、予算を平準化し、持続的な事業予算の確保を図ることができます。

なお、本計画における橋りょうの修繕事業費（定期点検費、設計等委託費、修繕等工事費）を、2.2 億円／年と想定しています。

表－今後50年間の年度別橋りょう修繕事業費の見込額
(予防保全対応、平準化前の場合)



6) おわりに

米子市では、今後も長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの修繕及び更新を計画的に実施し、場合によっては集約化・撤去も含めた検討を行い、より効率的かつ効果的な維持管理を行うことにより、基幹的社会資本の維持に努めます。

また、今後も道路法に基づく定期点検を実施することにより、橋りょうの健全性、損傷状態等を確認し、その結果に基づいた適切な対応を図るため、概ね5年ごとに計画の見直しを検討します。

凡例：↔ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	次回点検年次	対策の内容・時期							
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	健全性	
京橋	市道	京橋立町通り線	12.0	1959	64	R1	R6								II
中の棚橋	市道	岩倉町4号線	16.4	1977	46	R3	R8			↔					I
加茂川橋	市道	本通り西線	9.2	1950	73	R1	R6								II
1号橋	市道	富士見町東福原線	2.4	1981	42	R1	R6								I
工業橋	市道	富士見町東福原線	6.1	1981	42	R1	R6								III
工業橋歩道橋	市道	富士見町東福原線	6.1	1981	42	R1	R6					↔			II
1号橋	市道	博労町1丁目4号線	3.0	1981	42	R1	R6								I
2号橋	市道	米川右岸堤線	3.8	1976	47	R1	R6			↔					II
米川橋	市道	糞町車尾線	12.6	1969	54	R2	R7					↔			II
米川橋歩道橋	市道	糞町車尾線	11.7	1969	54	R1	R6	↔							II
2号橋	市道	米川中島皆生線	3.0	1970	53	R1	R6								II
1号橋	市道	車尾5号線	3.0	1969	54	R1	R6								II
3号橋	市道	車尾5号線	4.2	2008	15	R1	R6								II
覚證院橋	市道	朝日町通り線	7.1	1960	63	R1	R6								II
善光院橋	市道	四日市町3号線	7.2	1959	64	R3	R8								I
瑜伽堂橋	市道	富士見町南紺屋町線	8.3	1974	49	R1	R6	↔							III
稲田橋	市道	紺屋町1号線	7.7	1958	65	R1	R6								III
旧土橋	市道	法勝寺町1号線	8.1	1928	95	R1	R6								II
土橋	市道	富士見町東町線	8.0	1962	61	R1	R6						↔		II
法勝寺橋	市道	法勝寺町2号線	8.6	1977	46	R3	R8								II
糞町西橋	市道	糞町1丁目1号線	6.3	1981	42	R1	R6								II
糞町橋	市道	元町通り線	7.3	1969	54	R1	R6								II
後藤川橋	市道	博労町1丁目東山町線	12.2	2007	16	R2	R7								I
東山川橋	市道	博労町1丁目東山町線	14.2	1980	43	R1	R6								II
東山橋	市道	東山川左岸堤線	8.7	1983	40	R1	R6								II
1号橋	市道	昭和町1号線	2.4	1981	42	R1	R6								II
陽田橋	市道	道笑町4丁目東山町線	7.7	1941	82	R1	R6								III
小原橋	市道	道笑町4丁目陽田町線	8.2	1998	25	R1	R6					↔			I
1号橋	市道	車尾7号線	3.5	1999	24	R1	R6								III
1号橋	市道	吉岡旧道線	5.0	1977	46	R3	R8								I
新加茂川橋	市道	茶町祇園町線	37.4	1978	45	R1	R6								I
愛宕橋	市道	茶町祇園町線	37.8	2002	21	R2	R7								I
祇園橋	市道	久米町祇園橋線	38.7	1974	49	R2	R7								I
1号橋	市道	道笑町通り線	2.4	1981	42	R1	R6								II
1号橋	市道	道笑町4丁目美吉線	2.6	1981	42	R1	R6								I
池の内橋	市道	長砂町美吉線	34.3	1988	35	R2	R7						↔		II
口長砂橋	市道	長砂町7号線	33.1	1988	35	R2	R7								II
商蚕橋	市道	長砂町1号線	8.3	1964	59	R1	R6	↔							III
長砂橋	市道	長砂町3号線	35.7	1992	31	R2	R7						↔		II
観音寺3号橋	市道	観音寺1号線	9.4	1975	48	R1	R6	↔							III

凡例：↔ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	次回点検年次	対策の内容・時期							
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	健全性	
1号橋	市道	河岡3号線	3.9	1981	42	R2	R7								I
2号橋	市道	水浜河岡線	5.7	1977	46	R1	R6								II
小路橋	市道	河岡2号線	22.9	1972	51	R1	R6					↔			I
山本橋	市道	河岡日下線	22.9	1972	51	R3	R8						↔		III
1号橋	市道	日下開拓1号線	9.7	1981	42	R3	R8								I
1号橋	市道	日下開拓2号線	3.6	1981	42	R3	R8								I
1号橋	市道	東八幡3号線	2.8	1977	46	R1	R6								II
水浜橋	市道	水浜1号線	4.3	1977	46	R1	R6								II
1号橋	市道	水浜万太夫線	2.9	1977	46	R1	R6								II
1号橋	市道	水浜河岡線	4.4	1977	46	R3	R8					↔			II
万太夫橋	市道	五ツ分万太夫線	19.7	1975	48	R1	R6								I
河原田橋	市道	福万遠藤線	18.0	1976	47	R1	R6								II
日下橋	市道	五ツ分日下線	55.0	1969	54	R3	R8	↔					↔		III
上福万橋	市道	上福万日下線	54.8	1974	49	R3	R8	↔							II
1号橋	市道	石州府1号線	2.5	1981	42	R3	R8								I
谷田橋	市道	上福万日下原線	52.3	1970	53	R3	R8						↔		III
1号橋	市道	栄開拓1号線	3.4	1981	42	R1	R6								I
5号橋	市道	大山街道線	3.6	1977	46	R1	R6								I
1号橋	市道	二本木2号線	2.5	1982	41	R1	R6								II
1号橋	市道	尾高岡成赤松線	10.4	1983	40	R1	R6					↔			I
1号橋	市道	赤井手4号線	3.3	1978	45	R1	R6								I
1号橋	市道	十日市島田2号線	2.6	1983	40	R1	R6								II
2号橋	市道	尾高岡成赤松線	2.5	1983	40	R1	R6								II
1号橋	市道	二本木4号線	2.5	1996	27	R1	R6								I
下泉橋	市道	尾高下泉線	54.2	1995	28	R3	R8								II
下泉歩道橋	市道	尾高下泉線	56.1	1997	26	R3	R8					↔			II
泉大橋	市道	上泉下泉線	48.6	1997	26	R3	R8					↔			II
尾高橋左側側道橋	市道	山陰道尾高泉南側道線	7.7	1995	28	R1	R6								I
尾高橋右側側道橋	市道	山陰道尾高泉北側道線	7.7	1995	28	R1	R6					↔			III
1号橋	市道	熊党3号線	2.8	1998	25	R1	R6								I
2号橋	市道	熊党3号線	2.6	1998	25	R1	R6								I
1号橋	市道	熊党5号線	2.6	1998	25	R1	R6								I
1号橋	市道	上泉5号線	4.5	2006	17	R1	R6								I
1号橋	市道	岡成上泉3号線	15.6	1976	47	R3	R8					↔			II
1号橋	市道	流通団地中央線	3.4	1997	26	R2	R7								I
福尾橋	市道	河岡日下線	45.0	1972	51	R3	R8								II
宮ノ谷橋	市道	宗像2号線	32.7	1995	28	R2	R7								II
宗像神社前橋	市道	宗像神社日原線	32.6	1997	26	R2	R7								II
要害山橋	市道	成実小学校線	25.0	2002	21	R3	R8								I
天神橋	市道	尾高町通り線	18.4	1990	33	R1	R6					↔			II

凡例： ← → 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	次回点検年次	対策の内容・時期							
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	健全性	
2号橋	市道	葭津1号線	2.7	1981	42	R3	R8								I
大篠津7号橋	市道	中原1号線	4.3	1976	47	R1	R6								II
1号橋	市道	中原1号線	2.7	1976	47	R1	R6								II
1号橋	市道	葭津12号線	2.8	1950	73	R1	R6						← →	床版:表面被覆	II
昭和橋	市道	大篠津西12号線	6.0	1950	73	R1	R6								III
1号橋	市道	下和田東5号線	2.0	1972	51	R1	R6	← →							II
1号橋	市道	下和田東4号線	2.8	1972	51	R1	R6	← →							III
1号橋	市道	上和田東大篠津1号線	2.5	1972	51	R1	R6	← →							III
2号橋	市道	上和田東大篠津1号線	2.3	1972	51	R1	R6								I
和田新川橋	市道	上和田東大篠津2号線	4.0	2012	11	R2	R7								I
1号橋	市道	葭津22号線	5.6	1981	42	R3	R8								III
1号橋	市道	葭津1号線	2.2	1950	73	R1	R6								II
1号橋	市道	大篠津西12号線	2.1	1981	42	R2	R7								II
大篠津3号橋	市道	大篠津西11号線	3.3	1950	73	R1	R6						← →	床版:表面被覆	II
1号橋	市道	葭津9号線	2.3	1981	42	R1	R6								II
大篠津1号橋	市道	大篠津西9号線	4.0	1950	73	R3	R8	← →						主部材:表面被覆 等	II
和田5号橋	市道	葭津4号線	4.0	1950	73	R4	R9								II
1号橋	市道	和田浜駅下和田線	2.0	2003	20	R1	R6								I
1号橋	市道	上和田西3号線	2.3	1981	42	R1	R6								III
1号橋	市道	上和田西2号線	2.5	1981	42	R1	R6								II
1号橋	市道	上和田西1号線	2.0	1981	42	R1	R6						← →	橋台:表面被覆	II
8号橋	市道	外浜街道線	4.2	2010	13	R1	R6								II
1号橋	市道	下富益西6号線	2.8	1981	42	R2	R7								I
1号橋	市道	下富益西5号線	2.8	1981	42	R1	R6								III
2号橋	市道	葭津19号線	2.1	1950	73	R1	R6								III
1号橋	市道	葭津18号線	2.3	1950	73	R1	R6								III
1号橋	市道	大崎東28号線	2.5	1950	73	R1	R6	← →						橋台:断面修復 等	I
和田3号橋	市道	大崎和田浜駅線	4.5	2000	23	R1	R6								II
和田2号橋	市道	大崎東15号線	6.1	1950	73	R1	R6								I
1号橋	市道	大崎東13号線	2.0	1950	73	R2	R7								I
和田1号橋	市道	大崎東13号線	6.1	2008	15	R3	R8								I
1号橋	市道	弓ヶ浜中央線	2.6	1975	48	R1	R6								II
富益10号橋	市道	下富益西3号線	7.1	2011	12	R4	R9								I
1号橋	市道	下富益西3号線	2.8	1981	42	R2	R7								II
1号橋	市道	下富益西2号線	2.4	1981	42	R1	R6								II
1号橋	市道	下富益西1号線	2.4	1981	42	R2	R7								I
1号橋	市道	下富益西4号線	2.9	1981	42	R2	R7								II
1号橋	市道	上富益東18号線	4.2	1981	42	R1	R6								II
7号橋	市道	外浜街道線	4.3	2012	11	R1	R6								I
1号橋	市道	富益崎津3号線	2.8	1981	42	R1	R6	← →						橋台:断面修復 等	III

凡例： ← → 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	次回点検年次	対策の内容・時期							
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	健全性	
道笑町1号橋	市道	道笑町3丁目3号線	22.1	1983	40	R2	R7								II
2号橋	市道	道笑町4丁目陽田町2号線	5.9	1987	36	R1	R6								II
1号橋	市道	勝田町南7号線	2.4	1985	38	R1	R6								II
昭和町1号橋	市道	東山川右岸堤線	21.3	1982	41	R2	R7								II
1号橋	市道	住吉19号線	3.2	1985	38	R2	R7								I
1号橋	市道	住吉20号線	3.2	1985	38	R1	R6								II
1号橋	市道	下郷4号線	6.3	1986	37	R2	R7								II
下郷新橋	市道	下郷4号線	61.1	1985	38	R3	R8								II
1号橋	市道	今在家3号線	2.9	1979	44	R1	R6								I
1号橋	市道	愛宕町新加茂川左岸線	2.8	1959	64	R3	R8								I
末広橋	市道	末広町大谷口陰田線	38.4	1987	36	R2	R7								III
1号橋	市道	末広町大谷口陰田線	6.0	1987	36	R1	R6						← →	橋台:断面修復等	II
2号橋	市道	末広町大谷口陰田線	9.4	1987	36	R1	R6								II
3号橋	市道	末広町大谷口陰田線	10.4	1987	36	R1	R6								II
1号橋	市道	米原中筋線	2.0	1972	51	R1	R6								II
1号橋	市道	前谷両三柳2号線	2.2	1971	52	R1	R6								I
1号橋	市道	五ツ分石州府線	2.8	1976	47	R3	R8				← →		主部材:断面修復等		II
1号橋	市道	上安曇大袋3号線	3.2	1988	35	R2	R7								II
2号橋	市道	上安曇大袋3号線	7.3	1988	35	R3	R8				← →		橋台:ひび割れ注入等		II
2号橋	市道	上安曇大袋1号線	3.8	1980	43	R2	R7								I
1号橋	市道	福市18号線	2.4	1988	35	R1	R6						← →	床版:断面修復	II
1号橋	市道	新庄山根2号線	14.9	2006	17	R3	R8								I
1号橋	市道	上彦名東5号線	6.2	1981	42	R3	R8								I
1号橋	市道	口陰田県境線	7.1	1981	42	R1	R6								II
大沢川19号橋	市道	米川西福原3号線	4.5	1999	24	R3	R8								I
2号橋	市道	下彦名東横1号線	2.7	1981	42	R2	R7								I
13号橋	市道	彦名西横線	2.3	1981	42	R1	R6								II
崎津団地1号橋	市道	富益崎津3号線	23.6	1985	38	R2	R7								II
1号橋	市道	夜見新田5号線	2.3	1989	34	R1	R6								II
1号橋	市道	西和田団地4号線	2.4	1989	34	R1	R6								III
1号橋	市道	西和田団地8号線	2.4	1989	34	R1	R6								II
水貫川橋	市道	皆生中央線	14.8	1988	35	R2	R7								II
水貫川1号橋	市道	皆生新田2丁目7号線	28.9	1983	40	R2	R7								II
錦海橋	市道	錦海中央線	18.0	1988	35	R2	R7								II
ゆうなぎ橋	市道	錦海中央線	26.0	1994	29	R2	R7				← →		主部材:表面被覆等		I
1号橋	市道	大谷町陰田町線	4.7	1990	33	R1	R6								I
崎津団地2号橋	市道	和田葎津線	24.0	1989	34	R2	R7								II
14号橋	市道	彦名西横線	2.0	1981	42	R3	R8								I
水貫川3号橋	市道	皆生24号線	29.0	1985	38	R2	R7				← →		舗装:打換等		I
水貫川2号橋	市道	皆生25号線	29.0	1985	38	R2	R7						← →	橋台:断面修復	II

凡例：↔ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	次回点検年次	対策の内容・時期							
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	健全性	
新宗像橋	市道	宗像長砂町線	35.0	1985	38	R2	R7						↔	橋台：ひび割れ注入	II
1号橋	市道	橋本榎原線	4.2	1991	32	R1	R6						↔	床版：断面修復	I
新二本木橋	市道	二本木下郷線	28.0	1987	36	R3	R8								II
1号橋	市道	国道古豊千今在家西側道線	2.8	1991	32	R1	R6								II
2号橋	市道	国道古豊千今在家西側道線	2.1	1991	32	R1	R6								I
3号橋	市道	国道古豊千今在家西側道線	6.6	1991	32	R1	R6								I
4号橋	市道	国道古豊千今在家西側道線	2.3	1991	32	R1	R6						↔	床版：断面修復	I
5号橋	市道	国道古豊千今在家西側道線	4.8	1991	32	R2	R7								I
6号橋	市道	国道古豊千今在家西側道線	3.0	1991	32	R1	R6								I
1号橋	市道	国道古豊千今在家東側道線	2.5	1991	32	R1	R6								II
2号橋	市道	国道古豊千今在家東側道線	2.0	1991	32	R1	R6								I
3号橋	市道	国道古豊千今在家東側道線	6.6	1991	32	R1	R6								I
4号橋	市道	国道古豊千今在家東側道線	2.5	1991	32	R1	R6						↔	橋台：断面修復	II
5号橋	市道	国道古豊千今在家東側道線	4.4	1991	32	R2	R7								I
6号橋	市道	国道古豊千今在家東側道線	3.0	1991	32	R1	R6								II
1号橋	市道	陽田町1号線	2.1	1981	42	R1	R6								III
昭和町2号橋	市道	昭和町3号線	21.0	1982	41	R2	R7								II
1号橋	市道	中島上福原1号線	3.8	1976	47	R1	R6								I
1号橋	市道	中島上福原2号線	3.0	1992	31	R1	R6								II
2号橋	市道	中島上福原2号線	2.4	1992	31	R1	R6								II
公園南橋	市道	西福原両三柳1号線	17.0	2009	14	R2	R7								I
治右衛門橋	市道	西福原両三柳2号線	16.2	2007	16	R2	R7								II
堀川中央橋	市道	西福原両三柳3号線	16.3	1988	35	R2	R7						↔	橋台：断面修復等	II
土手下橋	市道	西福原両三柳4号線	16.4	2004	19	R2	R7						↔	橋台：断面修復等	II
2号橋	市道	浦津蚊屋2号線	2.8	1977	46	R1	R6								I
2号橋	市道	福万中央線	2.2	1992	31	R1	R6								III
3号橋	市道	福万中央線	2.4	1992	31	R1	R6								II
1号橋	市道	青木団地青木1号線	4.2	1979	44	R2	R7								II
2号橋	市道	青木団地青木1号線	3.5	1979	44	R3	R8								I
2号橋	市道	富益崎津3号線	4.5	1981	42	R1	R6								I
ふれあい橋	市道	錦海町1号線	22.0	1992	31	R2	R7						↔	床版：表面被覆	II
1号橋	市道	河崎新田8号線	6.3	2002	21	R1	R6						↔	主部材：表面被覆等	II
1号橋	市道	河崎新田9号線	2.7	1992	31	R1	R6								II
昭和町3号橋	市道	昭和町3号線	29.0	1983	40	R2	R7								II
1号橋	市道	長砂町3号線	2.0	1981	42	R1	R6						↔	床版：断面修復	I
1号橋	市道	下新印赤井手2号線	3.9	1993	30	R2	R7								I
池の尻川橋	市道	弓ヶ浜新開線	4.7	1978	45	R2	R7								I
彦名東橋	市道	彦名新田中央線	66.0	1992	31	R2	R7						↔	橋脚：断面修復等	II
彦名中橋	市道	彦名新田1号線	46.7	1991	32	R2	R7						↔	橋台：表面被覆等	II
彦名西橋	市道	彦名新田2号線	53.4	1979	44	R1	R6						↔	主部材：表面被覆等	II

